

月 報 (2013 年 7 月)

提出日 2013 年 8 月 6 日

国際戦略推進本部 下田 誠

今月の業務テーマ	
(1) 本学の留学生数の減少について、現状の分析と対応を検討する。	具体的な行動目標 現状の分析と改善策の検討を作成する。
(2) 東アジア教員養成国際コンソーシアム事業の第2フェーズと国際共同研究を推進する。	具体的な行動目標 第8回東アジア教員養成国際シンポジウムに向けて国際共同研究を推進する。
実施内容	
<p>(1) について 【国際戦略推進本部の活動】 国際戦略WG(ワーキンググループ)を開催し、留学生数減少の原因とその改善策について議論を重ねた。</p> <p>(2) について 【東アジア教員養成国際コンソーシアム事業実施部会の活動】 「東アジア教員養成国際コンソーシアム学生相互交流プログラム」(JASSO)と「東日本大震災被災地の教育支援ボランティア」(文部科学省スポーツ青少年局助成課題)について、それぞれ準備を進めた。</p>	
成果	
<p>(1) について 留学生数の減少は中国・韓国からの私費研究生・院生の減少が主たる原因であるが、その原因は一時的なものと構造的なものに分けられる。一時的には震災や原発の影響、対日関係の問題などがみられるが、中国・韓国の英語圏への留学傾向や中国国内の大学環境の整備、韓国学生の中国留学増加など構造的な要因も見逃せない。本学は「日本語・日本研究コース(仮称)の充実」と「教員養成・研修、教育問題に関するプログラムの充実」により対応する旨、改善策をまとめ藤井健志本部長より村松泰子学長に提出した。</p> <p>(2) について 東アジア教員養成国際コンソーシアム事業は来年度に第2フェーズの最終年度を迎える。そのため、事業の今後について基本情報の整理を進め、今後の事業の展開について意見交換をおこなった。 秋保聡国際課長と下田准教授は「東日本大震災被災地の教育支援ボランティア」の視察と打ち合わせのため、栗原市の国立花山青少年自然の家と栗原市内の小中学校を訪問した。 部会の主催する活動である東アジア教員養成ゼミにおいて、第8回東アジア教員養成国際シンポジウムにおいて発表する3名の博士課程学生が構想報告をおこなった。</p>	
8月・9月の予定	
「東日本大震災被災地の教育支援ボランティア」の参加者とプログラムをかためる/第1回企画委員会の開催/大阪教育大学出張/北京師範大学出張/栗原・登米・石巻出張/第8回東アジア教員養成国際シンポジウムへの参加/JASSO 奨学金プログラムの受入れ体制の整備と参加学生の決定	